

ACE A5(2.2) 以上へのアップグレードにより URL ベースのロード バランシングが発生する

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料にアプリケーション コントロール エンジン (ACE) がリリースバージョン A5(2.2) またはそれ以降および URL ベースのロード バランシングに失敗するアップグレードされたら発生する問題点を明らかにし解決する方法を記述されています。

問題

ACE は以前のソフトウェアバージョンからリリースバージョン A5(2.2) にアップグレードされました。バージョン A5(2.2) へのアップグレードの後で、ACE は RFC2396 不適合な文字が含まれている URL のための接続をリセットします、ロード バランシングを基づかせていた一致するために URL のために設定されたとき。ACE は「show stats http」出力をの「静的な解析エラー」報告します。

解決策

Cisco バグ ID CSCud39381 の結果としてソフトウェア バージョン A5(2.2) では、ACE のデフォルトの動作は URL マッチによって基づくロード バランシングのための RFC2396 に合致することです。

ACE HTTP パーサーが不適合な RFC2396 文字を取り扱うようにするために厳密でない解析を可能にするタイプ HTTP のパラメータ マップを設定して下さい。次に、適切なポリシー/class-map にこのパラメータ マップを適用して下さい。

HTTP パラメータ マップの形式は次のとおりです:

```
parameter-map type http <NAME>  
  parsing non-strict
```

注: リリース A5(2.2) の除外を用いるソフトウェアのリリースバージョン A5(2.0) およびそれ以降では、ACE HTTP パーサーは 32 - 126 および 128 - 255 の範囲で ASCII文字を受け入れました。

注: 先のソフトウェアのリリースバージョン リリース A5(2.0) よりでは、ACE HTTP パーサーは範囲 32 - 126 のだけ ASCII文字を受け入れました。